

じゃっと新聞

No.66 号

定期総会報告スタディツアー案内

発行日：2015.6.5

発行人：帖佐 徹

発行所：じゃっと事務局

〒895-0054 鹿児島県薩摩川内市神田町
11-20 若松記念病院内

TEL/FAX 0996-27-0193

e-mail info@jaddo.or.jp

<http://www.jaddo.or.jp/>

メール、ホームページアドレス変わりました



ツン村小学校、歓迎の踊り

理事長 帖佐 徹

皆様、26年度はいろいろ大きな活動のあった年でした。まず、日本国際保健医療学会第33回西日本地方会を、「途上国の食と健康」のテーマで、平成27年2月28日、鹿児島純心女子大学において開催しました。市民公開講座として、「ルワンダの子供たちの教育と栄養」「納豆の起源：途上国の環境と食」の2題を提供し、好評を得ることができました。この他、鹿児島純心女子大学の大学祭への出展、鹿児島大学での講義、川内高校学校評価委員会、元気塾講演会、青少年健全育成意見発表大会への出席を行い、じゃっと新聞も発行しました。またビエンチャンでの20年にわたる活動を基に、会員の吉田いつこが学校保健での寄生虫対策教育の長期的効果として研究を行いました。帖佐徹も前年のカムワン県での学童の寄生虫感染率や予防知識を研究しました。これら2題の研究結果を、平成26年11月1～3日の、第29回日本国際保健医療学会学術大会で発表しました。

ラオスでは、前年よりカムワン県セバンファイ郡で学校保健活動を開始しました。机イス募金を通じて、7つの小学校に30セットを、スポーツ用品や文具とともに供与しました。Dr Kongsap と Dr Somchit による、Teachers' Training Course も実施し、「手をあらおう」の絵本も教本として送りました。また幼児舎用として、トゥン小には床シート、フアナ小にはトイレ建設資金を供与、従前より継続しているビエンチャン市の学校保健については、サムケ小に机イス20セットを供与しました。

しかし、円安・キープ高のため机イス工賃が高騰し、総会では、机イス募金の増額も検討の対象となりました。また、「手をあらおう」は絶版となり、いかにその優れた情報を継承していくか、戦略が必要です。これら、今後の協力の課題を、継続的に考えていくことが、会員間で共有されました。

平成 26 年度事業報告

自 平成 26 年 4 月 1 日～ 至 平成 27 年 3 月 31 日

昨年度は主要事業として、日本国際保健医療学会第 33 回西日本地方会を、「途上国の食と健康」のテーマで、平成 27 年 2 月 28 日開催した。また市民公開講座も「ルワンダの子供たちの教育と栄養」「納豆の起源：途上国の環境と食」の 2 題を提供した。概ね好評であり、「じゃっど」の活動をアピールできた。

この他の国内活動としては、鹿児島純心女子大学の大学祭への出展、鹿児島大学での講義、川内高校学校評価委員会、元気塾講演会、青少年健全育成意見発表大会への出席を行った。じゃっど新聞も発行して、広報に努めた。

ラオスでの活動では、25 年度より開始した、カムワン県セバンファイ郡での学校保健活動では、机イス募金を通じて、7 つの小学校に 30 セットを、スポーツ用品や文具とともに供与した。Dr Kongsap と Dr Somchit により、Teachers' Training Course も実施し、「手をあらおう」の絵本も教本として送った。また幼児舎用として、トゥン小には床シート、フアナ小にはトイレ建設資金を供与した。従前より継続しているビエンチャン市の学校保健については、サムケ小に机イス 20 セットを供与した。

また、ビエンチャンでの 20 年にわたる活動を、会員の吉田いつこが学校保健での寄生虫対策教育の長期的効果として研究を行い、帖佐徹も前年のカムワン県での学童の寄生虫感染率や予防知識をまとめたので、これら 2 題の研究結果を、平成 26 年 11 月 1～3 日の、第 29 回日本国際保健医療学会学術大会で発表した。

スタディツアーは平成 26 年 12 月 23 日～28 日、学生 4 名を含む参加者 10 名で実施した。ビエンチャン市サムケ小を訪問した後、カムワン県へ移動し、トゥン小にてオーバーハンドセレモニー、視察、交流会を実施した。27 日ホーチミンにて視察の後、大阪空港経由で帰鹿した。

1. 国内の活動

① 絵本部；本年度は絵本の購入はしなかった。在庫の「手をあらおう」の絵本を 12 月のスタディツアーのときに持参しカムワン県セバンファイ郡の小学校にそれぞれ供与した。

② 開発部；

◆参加したイベント(パネル展示)

- ・若松記念病院秋桜忌研修（10 月 11 日）
- ・鹿児島純心女子大学祭（10 月 25、26 日）
- ・日本国際保健医療学会(2 月 28 日)

◆講演、会合への出席

- ・鹿児島大学「ボランティア論」（11 月 6 日）
- ・県立川内高等学校、学校評価委員会(7 月 3 日、11 月 18 日、2 月 10 日)
- ・薩摩川内元気塾講演会 薩摩川内市立峰山小学校（7 月 4 日）
- ・第 23 回青少年健全育成意見発表会（2 月 7 日）

③ 広報部；じゃっと新聞 64 号、65 号発行

じゃっと事務局訪問

・九州電力協同組合鹿児島支部執行委員長（3 月 24 日）

2. ラオスでの活動

◆本年度活動支援校

トゥン村小学校（カムアン県）

幼児舎 3 教室に床用シートを供与

スポーツ用品供与、文具供与、

フアナ村小学校(カムアン県)

スポーツ用品、文具供与、

幼児舎用トイレ建設資金を供与

ドンマークバ小学校(カムアン県)

スポーツ用品、文具供与、机イス

サムケ小学校（ビエンチャン市）

以前からの支援校であるが、机イスは古くなったため 20 セットを供与。文具

※机イスはカムアン件の他 4 小学校 Nabung(ナバン), Nangphang(ナンパン), Kengkhehene, (ケンヘン) Veunxe(ヴンセ)に 30 セットとスポーツ用品、文具を供与
合計 50 セットを製作、供与した。

3. 視察ツアー

視察 2015 年 12 月 23 日～12 月 28 日

参加者 10 名(学生 4 名含む)、途中合流 1 名

カムアン県へは Dr. コンサップ、Dr. ソムチット同行、(通訳 虫明氏)

ビエンチャン郊外のサムケ小学校で、机イス 20 セットを記名して供与。小学校視察後、カムアン県タケクへ専用車で約 5 時間かけて移動。当地での活動パートナーの ISAPH スタッフと会食。

翌日、支援校のトゥン村小学校で他の小学校校長も集まり、贈与式、机イス記名、学校視察、交流会。

26 日にはビエンチャンへ移動し、翌 27 日ホーチミン（半日観光）経由で 28 日大阪空港着。
新幹線で鹿児島着

平成26年度(2014年)活動決算書及び平成27年度(2015年)活動予算書

収入

科目		平成26年度決算	平成27年度予算
前期繰越収支差益	国内	2,777,117	3,222,885
	ラオス	439,014	596,853
小計①		3,216,131	3,819,738
会費・寄付金	年会費(2000円×会員数)	334,000	300,000
	寄付金(個人)	2,001,916	500,000
	寄付金(団体)(※①)	500,000	0
	机いす募金	265,000	250,000
	助成金	40,000	0
小計②		3,140,916	1,050,000
事業費	研修事業	744,720	500,000
小計③		744,720	500,000
その他	利息	618	500
	雑収入(※②)	155,655	150,000
	為替差益	40,728	0
	未収入金(※③)	1,687	0
小計④		198,688	150,500
A当期収入合計②+③+④		4,084,324	1,700,500
B収入合計①+②+③+④		7,300,455	5,520,238

支出

科目		平成26年度決算	平成27年度予算
事業費	学校保健事業(※1)	187,164	200,000
	学校設備充実事業(※2)	581,807	500,000
	研修事業(※3)	400,995	500,000
	普及・啓発事業(※4)	3,500	100,000
小計⑤		1,173,466	1,300,000
管理費	事務消耗品費(※5)	262,095	100,000
	印刷製本費(※6)	122,118	100,000
	会議費(※7)	24,033	20,000
	通信費(※8)	145,834	100,000
	諸会費(※9)	101,500	40,000
	旅費交通費(※10)	414,763	100,000
	交際費(※11)	25,180	30,000
	雑費(※12)	44,643	50,000
	新聞図書費(※13)	1,080	0
	支払助成金(※14)	401,686	0
	借入金(※15)	744,720	0
	預り金(※16)	10,000	0
	為替差損	17,911	0
小計⑥		2,315,563	540,000
	予備費(活動準備金)	0	3,680,238
小計⑦			3,680,238
C当期支出合計⑤+⑥+⑦		3,489,029	5,520,238
A-C 当期収支差益		595,295	
B-C 次期繰越金		3,819,738	0

平成 27 年度事業計画

国内活動

- ① 絵本部；「手をあらおう」の絵本は既に絶版であり、継続は困難である。絵本や教材を開発することも考える。
- ② 開発部；昨年に引き続き、以下を行う
 - ・鹿児島大学にて講義「ボランティア論」
 - ・県内の小中学校での講話
 - ・県内の国際交流活動に積極的に参加
 - ・ボランティア体験学生の受け入れ
 - ・パネル展示の実施
 - ・各種助成金制度への応募
- ③ 広報部；じゃっど新聞の発行、ホームページの充実、更新、パンフレット配布
会員ボランティアの募集

九電助成金は全 13 回もいただいております、他の NGO への普及も考慮して、今回まででの辞退を申し入れ、これまでの支援への感謝として、フアナ小に建設予定のトイレに、九州電力生活協同組合のネームプレートを設置する予定である。

イベントへの出展や、講演・会合への出席は、広報啓発活動として本年度も行っていく。

机イス募金は、円安キープ高の世界的ながれから、工賃、材料が上昇し続けており、ラオス側の要請にこたえることが困難となってきた。については協議事項として、机イス募金の値上げを提案したい。

ラオスの活動

Dr Kongsap と Dr Somchit の提案に沿って、Teachers' Training Course や小学校での寄生虫対策をカムワン県で実施する。ISAPH がセバンファイ郡での活動が 10 年以上となったため、他の郡へのサイト移転を計画している。Dr Kongsap と Dr Somchit は始まったばかりのセバンファイでの学校保健活動継続を希望しており、ISAPH とカムワン県との MOU には、ISAPH プロジェクトのフォローアップという形で、記載してもらうよう要請している。ビエンチャン市ではサムケ小から要請があるが、これから検討事項とする。

スタディツアーについては、平成 27 年 12 月 23～31 日を実施予定期間とする。高校生 2 名、大学生 2 名を推薦という形で募集する予定である。また以前のスタディツアー参加者（とくに学生）との連絡が途切れがちなので、交流の機会を設定したい。



シートとトイレ建設援助資金供与



国際交流協会より頂いた助成金でパネル写真を掲載

感謝！



九電生協から助成金を頂きました。



日本国際保健医療学会
第33回西日本地方会開催



【事務局たより】

新規会員・ご寄付（2015 年 1 月～2015 年 5 月）

感謝の気持ちと共に、ご協力くださった皆様のお名前を記載させていただきました。（以下敬称略）

- **新規会員** 中村モータース、今村正則（薩摩川内市）
- **平成 25 年度会費** 若松裕子（東京都）
- **平成 26 年度会費** 若松裕子（東京都）、坂上恵子、
- 柳元理恵、増田隆信、増田康佑、（鹿児島市）、平屋四男（いちき串木野市）、田邊ツル子（大島郡）、今村久美子、太利公宏、帖佐理子（薩摩川内市）、
- **平成 27 年度会費** 丹沢佳子、岩田誠、田良島美佳、若松裕子、岩崎直子（東京都）、高野真綾（埼玉県）、サイヤキエンペット、藤島美由紀（愛知県）、吉田いつこ（奈良県）、案浦由美、姫野治子、（福岡県）、南武嗣、坂上恵子、米山晃代、福田弘子、森岡芳子、大園孝子（鹿児島市）、森重学（霧島市）、高坂紀子（出水市）、川原恵子（阿久根市）、有川清猛、平屋四男、高橋真弓、（いちき串木野市）、田邊ツル子（大島郡）、假屋素子、谷口征夫、菱刈昭郎、菱刈明子、神埼侯至、神埼裕士、庵地紘一、下尾崎健一、山本澄子、濱田時久、野間芳香、内田耕也、若松裕子、牛ノ浜妙子、新原千恵子、矢野千鶴子、和田ミヨ、児玉充敏、児玉タツ子、山下矣礎子、仲間明恵、泊亜希子、平山健介、愛甲勝、本田文男、太利公宏、田中英世、辛島芳子、小林キヨ子、古田宣稔、帖佐徹、帖佐理子、伊東ひとみ、田中康代、柴こうこ、牧田弘子、今屋佳代子（薩摩川内市）
- **平成 28 年度会費** 若松裕子、澤田達男（東京都）、森田正人（愛知県）、吉田いつこ（奈良県）、時村兼輔、時村英輔、（鹿児島市）、丸田小百合（いちき串木野市）、神埼侯至、神埼裕士、橋口知章、（株）ハートフル、南修、南恭子、若田吉朗、本田文男（薩摩川内市）、
- **平成 29 年度会費** 若松裕子（東京都）、本田文男（薩摩川内市）
- **平成 30 年度会費** 時村ヨシ、時村睦子、（鹿児島市）、
- **寄付金** 若松裕子、岩崎直子（東京都）、高野真綾（埼玉県）、サイヤキエンペット、藤島美由紀（愛知県）、内田和子、案浦由美、白石京子、（福岡県）、時村ヨシ、時村睦子、時村兼輔、時村英輔、福田弘子（鹿児島市）、高坂紀子（出水市）、假屋素子、庵地紘一、小林キヨ子、今村久美子、山本澄子、濱田時久、田中英世、若田吉朗、泊亜希子、本田文男、田中康代（薩摩川内市）

- **机いす募金** 1 口：丹沢佳子、岩田誠、若松裕子（東京都）、高野真綾（埼玉県）、案浦由美（福岡県）、福田弘子（鹿児島市）、丸田小百合、（いちき串木野市）、楠生正信（日置市）、谷口征夫、有嶋京子、立島尚子、田中康代、米澤真智子、若松大介、下尾崎健一、濱田時久、野間芳香、（薩摩川内市）、 2 口：鎌田憲司（東京都）、牟田信次（福岡県）、有川清猛（いちき串木野市）、若田吉朗（薩摩川内市）、
- 5 口：石山利江（阿久根市）

- **大口寄付** 九州電力生活協同組合（鹿児島市）、立島尚子（薩摩川内市）

- **印刷協力** 神崎侯至（株式会社アクティブ）

- **新聞発送協力** 立島尚子

【国内活動】

- 2 月 7 日 第 23 回青少年健全育成意見発表会（小幡）
- 2 月 10 日 県立川内高等学校 学校評価委員会（古田）
- 2 月 14 日 第 11 回理事会
- 2 月 17 日 FMさつませんだい「せんだい STORIES」出演（帖佐理子）
- 2 月 20 日 薩摩川内市役所 向原副市長訪問「日本国際保健医療学会」協力依頼（帖佐徹、今屋）
- 2 月 21 日 第 12 回理事会
- 2 月 27 日 学会準備、リハーサル（理事長以下全員）
- 2 月 28 日 日本国際保健医療学会第 33 西日本地方会開催（理事長以下全員、じゃっど会員数名）
- 3 月 24 日 九州電力生活協同組合 川俣執行委員長、事務局訪問（帖佐理子、高橋）
- 4 月 15 日 帳簿、書類等の点検（税理士太利氏）
- 4 月 19 日 学会盛会の慰労会（理事長以下企画実行委員）
- 4 月 28 日 帳簿修正等指導（税理士太利氏）
- 5 月 2 日 平成 27 年度第 1 回理事会（理事長以下全員）
- 5 月 9 日 会計監査（若田）
- 5 月 16 日 第 23 回定期総会、ステージツアー報告会（理事長以下全員、ツアー参加者）
- 5 月 24 日 さつまパロッドクラブチャリティーパーティー、ブース出展（帖佐徹・理子、ボランティア増田）

じゃっど INFORMATION

◆ じゃっどスタディツアーの募集！ ◆

期間：平成 27 年 12 月 24 日（木）～12 月 31 日（木）（予定）

費用：約 12 万円

恒例のスタディツアー、今年も計画しています。ラオスの支援校を中心に過去の支援校視察、ビエンチャン視察等、です。

興味のある方は、詳細を事務局までお問い合わせください。

ラオスを見て、食べて、歩いて、ショッピングして
人と触れあい、ラオス大好きになって帰ってくることを保証します。



◆ 机イス募金変更のお知らせ ◆



★机イス募金をご支援いただきありがとうございます。
最貧国と言われているラオスにも少しずつ現代の波が押し寄せており、工賃や材料の値上げに伴い、1セットの机イスを製作費が2口の募金では賄えないようになってきました。

先ごろ開催された社員総会で、2口で机イス1セットできていたものを3口で机イス1セットの変更とすることが承認されました。1口 2500 円には変更はありません。

6 月 1 日以降からの実施になります。

ご負担をおかけしますが、よろしくお願いします。

※机やイスを必要としている学校はまだたくさんあります。引き続きご支援よろしくお願いします。



◆ 日本とラオスの外交関係樹立 60 周年

を記念して記念銀貨が発売されました。また、ラオスからは象が 4 頭京都市動物園に、日本からは桜の苗木をラオス北部のフアパン県へ贈ったそうです。

右のロゴマークが入った記念銀貨の実物を見たい方は事務局へお越し下さい。帖佐事務局長の私物があります。来年はイベントも多数ありそうです。



会員様の会費納入状況（会費有効期限）は、宛名シール内に記載してありますので、ご確認ください。（今年度平成 27 年度会費の有効期間は、平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日です）27 年度納入済みの方のあて名シールには、会費有効期限 H28/3/31 とあります。

※ゆうちょ銀行の自動引落としにて会費お支払の方は、支払日＝8 月 31 日となっております。※振込用紙はすでに次年度会費を納入済みの方にも同封してあります。寄付金等のご協力にお使いいただければ幸いです。

じゃっどの活動は皆様の会費に支えられています。

机イス募金・寄付金、随時受け付けております。

よろしくお願いいたします。

ゆうちょ銀行： 02050-2-4746 口座名 JADDO

★★ 編集後記 ★★

★

★20 年ぶりくらいにミニトマトの苗を植えてみました。イタリア産のブドウ色のトマトになるはず（うまいけば）、成長を楽しみながら収穫の日を待つとしましょう。（はいぶりっじ）

★今年は受験生がいる我が家。塾や学校の勉強に追われ部活も頑張るわが子に関心しつつも、毎夜睡魔に襲われ寝てしまうのを起こすのが、私の役目。受験が終わるその日まで私の睡眠不足も続きそう。（K. I）